

栃の木からの手紙

2019年 10月号



お盆の頃から、ここに芋があるとは思えない様なイヌビエ・アオゲイトウ・アカザ・ハコベ・・・の雑草畑。

収穫前に機械で雑草を刈り払い9月8日に芋の収穫を始め11日に無事に終了しました。今まで芋の収穫は、機械に雑草が絡まり苦労して収穫していましたが、昨年辺りから雑草の機械への絡まりが減り、今年は殆ど影響がありませんでした。例年の様に雑草畑である事に変わりはないのに、早魃の関係なのかな？例年より10日程早くに播種した芋、でも終了も早く芋の栽培期間3ヶ月半は変わっていない。

10月 神無月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8日： 寒露

4日： 満月 旧 9月16日

14日： 大空町輝農祭 道の駅 ほのか

19・20日： いけばな展 美幌郵便局隣 ポラリスビル

20日： 北見センター 収穫祭

24日： 霜降

28日： 新月 旧 10月 1日



(窒素飢餓)になってしまうのを10月初めには低温で発芽する一タリーを掛けて、細かい雑草を

雑草畑の芋の収穫が終わると、雑草が表面に散らばっている。例年では、このまますき込んでしまうが今年は、雑草の分解を促進する目的で有機質肥料を散布してからロータリーですき込みました。一般の畑では、小麦の収穫後、緑肥を播



きますが、この時に多めの肥料を散布します。これは小麦の殻が畑で分解する時に大量の窒素を使用する為に畑にある窒素が不足状態を防ぐ為です。

ハコベが芽吹き収穫後2回目の口処理しました。



芋の収穫が終わる頃まだまだ青々していた黒大豆。

9月末には黄化が進み10月初めには、葉が落ち始めました。以前、エダマメとして莢を開けた時、豆が青い事になりました。黒大豆だから黒い物だと思っていましたが違うのですね。収穫時の黒大豆とは色も大きさも違い、成長期間の中の黄化が始まる頃から徐々に変色し始め、今、黒大豆に変身中です。